

基本目標 4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり

Ⅰ 生涯学習の推進

人づくりの基本である家庭教育、幼児教育、学校教育の連携とそれぞれの充実を進めます。
また、生涯を通じて学習、スポーツ活動ができるよう、指導人材の育成、情報の提供、活動機会や場所などの充実を図ります。

分野	主要施策	細施策
1 家庭教育	(1) 家庭の教育力の向上	①学習機会の充実 p. 67 ②相談体制の充実 ③町民ニーズの把握
	(2) 高校進学育英奨学制度の充実	①育英奨学制度の充実 p. 72
2 幼児教育	(1) 幼児教育の充実	①教育内容の充実 ②教育基盤の充実 ③私立幼稚園との連携 ④私立幼稚園への助成 p. 68 ⑤私立幼稚園就園奨励 p. 68
	(2) 生涯学習推進体制の整備	①町民大学の拡充 p. 73 ②自主的な文化活動の活性化 ③身近な町有公共施設の設備充実 ④学校教育との連携強化 ⑤社会教育団体と指導者の育成
3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	①特色ある教育の推進 p. 68 ②小学校教育の充実 p. 69 ③中学校教育の充実 p. 70 ④特別支援教育の充実(再掲) p. 71 ⑤人権教育の推進 ⑥いじめの防止等と対策 ⑦不登校などの問題解決 p. 71 ⑧要保護・準要保護児童生徒の援助 p. 71 ⑨教育研究・教職員研修の充実 ⑩教育施設・設備・整備の推進 p. 72 ⑪教育行政における諸問題の検討
	(2) 生涯学習内容の充実	①多様なライフスタイルに対応した学習プログラムの作成 p. 73 ②国際化・情報化時代に即した社会教育の実施 ③生涯学習としての食育の推進
4 生涯学習	(1) 生涯学習推進体制の整備	①図書館施設整備の推進 p. 73 ②図書館資料の充実 p. 74 ③新図書館システムの活用 ④子どもたちに対するサービスの推進 p. 74
	(2) 生涯学習内容の充実	①図書館施設整備の推進 p. 73 ②図書館資料の充実 p. 74 ③新図書館システムの活用 ④子どもたちに対するサービスの推進 p. 74
5 スポーツ	(1) スポーツ施設の充実	①スポーツ施設の利用促進・運営充実 p. 75
	(2) スポーツ活動の支援	①スポーツ活動の支援 p. 75 ②スポーツ・レクリエーションの場づくり p. 76 ③スポーツ教室、イベントの開催 p. 77
6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	①青少年健全育成関係団体の支援 p. 77 ②青少年育成体験活動の推進 p. 78 ③青少年相談の充実 p. 78 ④学童保育・放課後子ども教室の充実 p. 78
	(2) 地域指導者の育成・支援	①青少年指導者の育成・支援 ②次世代地域指導者の育成 p. 79

--- II 文化芸術の振興 ---

先人が築き伝え残してきた地域文化や文化財、伝統行事などの保護に努めます。また、多彩な感性を磨く町民の主体的な文化活動を促進し、魅力ある湯河原文化を育みます。

分野	主要施策	細施策
1 文化芸術	(1) 伝統行事の振興	① 伝統行事・祭事の伝承と活用
	(2) 町民文化芸術活動の支援	① 教養文化の土壌醸成 p. 79 ② 美術館の充実・活用 p. 80
2 文化財・史料	(1) 文化財・史料の保護と活用	① 郷土資料展示室の充実 ② 町内にある文化財の調査研究 ③ 国・県・町指定文化財の保全、保護と巡回調査の実施 ④ 町史の編さん p. 81

--- III 多文化共生社会の実現 ---

社会経済の国際化に対応し、在住外国人にも暮らしやすいまちづくりを進めます。また、世界に目を向けた人材が育つよう、国際交流を推進するほか、国内親善都市などとの地域間交流を推進します。

分野	主要施策	細施策
1 国際理解	(1) 国際理解の推進	① 多文化共生意識の高揚 ② 国際理解講座の開催 p. 81
	(2) 外国籍住民の支援	① 外国籍住民の生活支援 ② 外国語での情報提供
2 国際交流	(1) 国際交流活動の展開	① 姉妹都市などとの交流拡大 p. 81 ② 国際文化交流の推進 p. 82
3 地域間交流	(1) 地域間交流の推進	① 地域間での交流の拡大 p. 82 ② 親善都市及び姉妹都市との交流の推進 p. 83

-- I 生涯学習の推進 -----

1 家庭教育

(1) 家庭の教育力の向上

①学習機会の充実	計画書 P 122							
<p>○子育てに関する知識や子どもとの接し方など、親の心構えや生活態度について学習する家庭教育学級・子育て学級など講座の充実により、家庭における教育力の向上を支援していきます。</p> <p>○子どもたちに読書の習慣が身に付くよう、「家読（うちどく）」を推進していきます。</p> <p>【参考となる指標】子育て学級の開催</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">現状の実績</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">➡</th> <th>2020 年度の目標</th> </tr> <tr> <td>平成 27 年度 4 回</td> <td>平成 28 年度 4 回</td> <td>4 回</td> </tr> </table>		現状の実績		➡	2020 年度の目標	平成 27 年度 4 回	平成 28 年度 4 回	4 回
現状の実績		➡	2020 年度の目標					
平成 27 年度 4 回	平成 28 年度 4 回		4 回					

事業 No. 153	事業名	家庭教育学級開催事業		
社会教育課 ソフト事業	事業概要	社会の変化と共に、家族や子どもを取り巻く環境が様々に変容する中、家庭教育のあり方やこれからの時代を生きる子どもたちの子育てについて理解を深め、各家庭の教育力を高めるために、保育園、幼稚園、小中学校の保護者を対象に講演会等を開催する。		
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度
○講演会等を開催				➡
決算額	138 千円	決算見込額	163 千円	予算額 88 千円

事業 No. 154	事業名	子育て学級開催事業		
社会教育課 ソフト事業	事業概要	乳幼児期の子育てについて理解を深め安心して子育てができるよう、保護者同士の出会いの場を提供するため、子育てに関する様々な課題をテーマに、0歳から就園前の子どもを持つ保護者を対象に開催する。		
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度
○子育て学級を開催				➡
決算額	40 千円	決算見込額	23 千円	予算額 43 千円

事業 No. 155	事業名	保育グループ育成事業		
社会教育課 ソフト事業	事業概要	教育委員会や保健センターが主催する学級・講座を子育て中の方が受講する際に、子どもを預け安心して参加できるようにするため、講座等開催中の保育を保育グループ「エプロンママ」に委託する。また、エプロンママ会員の資質向上を図り保育を充実させるために、研修会等の開催もあわせて委託する。		
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度
○保育グループへ活動を委託				➡
○保育者育成のための講座開催				➡
決算額	79 千円	決算見込額	80 千円	予算額 93 千円

事業 No. 156	事業名	子ども読書活動推進事業		
図書館 ソフト事業	事業概要	湯河原町子ども読書活動推進協議会、ボランティア・学校・行政等が連携協力して子ども読書活動を推進する。		
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度
○読書推進活動を実施				➡
○第三次子ども読書活動推進計画を策定				
決算額	87 千円	決算見込額	85 千円	予算額 52 千円

2 幼児教育

(1) 幼児教育の充実

④私立幼稚園への助成	計画書 P124
○人間形成の基礎を築く幼児教育を推進する私立幼稚園に対する運営支援を継続します。	

事業 No. 157	事業名	私立幼稚園助成事業		
学校教育課	事業概要	幼児教育を奨励するため、私立幼稚園に対し、運営費及び管理費の助成を行う。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○運営費及び管理費を助成 (1 園)				→
決算額	250 千円	決算見込額	250 千円	予算額 250 千円

(1) 幼児教育の充実

⑤私立幼稚園就園奨励	計画書 P124	
○子ども・子育て支援新制度への移行を踏まえつつ、私立幼稚園への就園奨励を図るため、保護者の負担軽減に努めます。		
【参考となる指標】 私立幼稚園就園奨励費補助金の申請者数		
現状の実績		2020 年度の目標
平成 27 年度 95 名	平成 28 年度 100 名	90 名

事業 No. 158	事業名	私立幼稚園就園奨励費補助金		
学校教育課	事業概要	保護者の経済的負担の軽減と幼稚園教育の普及・充実を図るため、私立幼稚園に満 3～5 歳児を通園させている家庭に対し、入園料・保育料の一部を助成する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○就園奨励費を助成				→
決算額	12,675 千円	決算見込額	12,033 千円	予算額 12,017 千円

3 学校教育

(1) 小・中学校教育の充実

①特色のある教育の推進	計画書 P126	
○保護者、地域の方々の協力を得た、学校支援ボランティアの活動を推進します。		
○総合的な学習の時間において、湯河原の自然環境を活かした実体験を通して、命の大切さ、かけがえのない自然、地域産業について学びます。		
○外国人講師の派遣による小・中学校外国語活動を充実します。		
【参考となる指標】 A L T (外国語指導助手) の派遣日数		
現状の実績		2020 年度の目標
平成 27 年度 小学校 120 日、中学校 196 日	平成 28 年度 小学校 141 日、中学校 190 日	小学校 150 日、中学校 190 日

事業 No. 159	事業名	学校支援ボランティア活用事業		
学校教育課	事業概要	授業のサポートや環境整備のサポートなどを保護者や地域の方の協力を得ながら、地域ぐるみで児童・生徒を育てる教育環境を推進する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○ボランティアを活用し学習等を支援				→
決算額	394 千円	決算見込額	469 千円	予算額 484 千円

事業 No. 160	事業名	総合的学習推進事業		
学校教育課	事業概要	地域を知る活動の実施に向け、各学年の発達段階に応じた活動や調べ学習を行い、教科にとらわれない総合的な課題などについて学習する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○総合的学習を実施				→
決算額	497 千円	決算見込額	560 千円	予算額 560 千円

事業 No. 161	事業名	小中学校外国語活動事業		
学校教育課	事業概要	外国人講師の生きた言葉を聞くことにより、外国語に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図る能力を養う。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○外国語活動の実施				→ ・週 1 時間の外国語活動を導入 (小学校 5・6 年生)
決算額	8,334 千円	決算見込額	8,337 千円	予算額 9,777 千円

(1) 小・中学校教育の充実

②小学校教育の充実		計画書 P 126
○副読本「ゆがわら」の冊子を作成し、社会科や総合的な学習の時間などで湯河原の歴史や産業・観光などを学習し、郷土である湯河原に愛着を持てる心の習得をめざします。		
○学校支援ボランティアなど、地域の人材を活用するほか、備品や図書の整備を進めます。		

事業 No. 162	事業名	副読本「ゆがわら」作成事業		
学校教育課	事業概要	小学校 4 年生を対象に郷土の歴史や文化、産業等を学習するための教材として作成する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
		○改訂版を作成		
決算額	—	決算見込額	856 千円	予算額 —

事業 No. 163	事業名	教育振興教材備品購入事業		
学校教育課	事業概要	多様化する学習内容に対応し、教師の資質向上と授業を効果的に進めるため、各小学校の教材備品の整備を行うもの。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○各小学校の教材備品を整備				→
決算額	1,427 千円	決算見込額	1,150 千円	予算額 1,150 千円

事業 No. 164	事業名	図書整備事業		
学校教育課 ソフト事業	事業概要	文部科学省が推進する学校図書館5か年整備計画に基づき、児童生徒の読書活動の促進のため、各小学校の学校図書の充実を図る。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○児童用図書を整備				→
○図書館非常勤司書を配置				→
○蔵書管理システムを運用				→
決算額	1,930 千円	決算見込額	1,960 千円	予算額 1,988 千円

(1) 小・中学校教育の充実

③中学校教育の充実		計画書 P126
<p>○地域の資源や人材などを活用したキャリア（職場体験）教育を通じて、コミュニケーション能力を養い、進路の発見や学習すべきことの「気づき」を身につける教育を推進します。</p> <p>○地域の方々による学習支援ボランティアが行う学習支援や援助により、生徒の学習の広がりや教養の育成に努めます。</p> <p>○教職員の指導力の向上を図り、わかりやすい授業を実践し「確かな学力の向上」をめざします。</p>		

事業 No. 165	事業名	副読本「ゆがわら」作成事業		
学校教育課 ソフト事業	事業概要	中学校1年生を対象に郷土の歴史や文化、産業等を学習するための教材を作成する。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
				○改訂版を作成
決算額	—	決算見込額	—	予算額 225 千円

事業 No. 166	事業名	教育振興教材備品購入事業		
学校教育課 ソフト事業	事業概要	学習指導における教材備品の充実は、多様化する学習内容に対応するために、必要不可欠であり、教師の資質向上と授業を効果的に進めるために整備を行う。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○中学校の教材備品を整備				→
決算額	1,112 千円	決算見込額	750 千円	予算額 750 千円

事業 No. 167	事業名	図書整備事業		
学校教育課 ソフト事業	事業概要	文部科学省が推進する学校図書館5か年整備計画に基づき、中学校の学校図書の充実を図る。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○生徒用図書を整備				→
○図書館非常勤司書を配置				→
○蔵書管理システムを運用				→
決算額	1,002 千円	決算見込額	1,080 千円	予算額 1,098 千円

(1) 小・中学校教育の充実

④特別支援教育の充実 (再掲)	計画書 P 126							
<p>○就学相談により状況把握に努め、児童・生徒の成長、発達に応じた適切な指導、教育、援助を行います。</p> <p>○学校生活のサポートや教育補助を行う「障がい児介助員」を継続して配置します。</p> <p>○県立小田原養護学校の分教室設置について、県と調整を進めていきます。</p> <p>【参考となる指標】 介助員配置数</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">現状の実績</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">➡</th> <th>2020 年度の目標</th> </tr> <tr> <td>平成 27 年度 6 人</td> <td>平成 28 年度 7 人</td> <td>5 人</td> </tr> </table>		現状の実績		➡	2020 年度の目標	平成 27 年度 6 人	平成 28 年度 7 人	5 人
現状の実績		➡	2020 年度の目標					
平成 27 年度 6 人	平成 28 年度 7 人		5 人					

事業 No. 72	事業名	障がい児介助員設置事業
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 2-Ⅱ-3-(1)-③特別支援教育の充実】		

(1) 小・中学校教育の充実

⑦不登校などの問題解決	計画書 P 127
<p>○不登校問題などの解消のために、適応指導教室、青少年相談室、湯河原中学校に配置するスクールカウンセラーなどの相談体制・指導体制を更に活用します。</p> <p>○引きこもりがちな児童・生徒に対して、スクールソーシャルワーカー (S S W) により家庭訪問指導を実施し問題の解決にあたっていきます。</p> <p>○各小・中学校は、これらの機能が十分発揮されるよう家庭や地域との連携の強化を図るとともに児童・生徒の指導、相談体制の更なる強化に努めます。</p>	

事業 No. 168	事業名	小中学校児童生徒支援事業		
学校教育課	事業概要	支援教育アドバイザー (臨床心理士) を雇用し小学校を中心に巡回相談を行うとともに、S S W (スクールソーシャルワーカー) を配置し家庭環境の把握や関係機関との連携を密にし、きめ細かな対応に努める。また、児童・生徒の状況を把握し改善の取り組みに役立てるためのアンケートを年 2 回実施する。		
ソフト事業				
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度
○臨床心理士による巡回相談を実施				➡
○S S W を配置し家庭環境を把握				➡
○アンケート (Q-U) を実施				➡
決算額	3,348 千円	決算見込額	3,348 千円	予算額 3,348 千円

事業 No. 169	事業名	適応指導教育推進事業		
学校教育課	事業概要	湯河原町適応指導教室運営委員会に運営を委託し、不登校児童・生徒の軽減を図るため、担当教諭と非常勤職員で個別指導及び家庭訪問を行う。		
ソフト事業				
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度
○個別指導及び家庭訪問を実施				➡
○非常勤職員を配置				➡
決算額	500 千円	決算見込額	1,264 千円	予算額 1,264 千円

(1) 小・中学校教育の充実

⑧要保護・準要保護児童生徒の援助	計画書 P 127
<p>○経済的な理由で小・中学校への就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、就学支援を行います。</p> <p>○町のホームページや広報紙、チラシなどの配布により、制度の周知を図ります。</p>	

事業 No. 170	事業名	要保護・準要保護児童生徒援助費及び特別支援教育就学奨励費補助金		
学校教育課	事業概要	生活保護世帯（要保護）、生活保護世帯に準じる家庭等（準要保護）の児童・生徒及び特別支援級の児童・生徒に対し、学用品費等の一部を援助し、保護者の負担軽減を図る。		
ソフト事業				
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○援助費及び奨励費を助成				→ ・支給項目の追加
決算額	7,924 千円	決算見込額	8,842 千円	予算額 11,172 千円

(1) 小・中学校教育の充実

⑩教育施設・設備・整備の推進		計画書 P 127
<p>○教育環境を整えるため、小・中学校などの施設や設備の整備を計画的に実施していきます。</p> <p>○安全・安心して学習ができるよう、小・中学校施設の更新や長寿命化計画策定の検討を行います。</p> <p>○パソコン教室用のパソコンの更新について、計画的に整備を図ります。</p>		
【参考となる指標】タブレットパソコンの整備数		
現状の実績		2020年度の目標
平成27年度 小学校 109 個、中学校 10 個	平成28年度 中学校 8 台	合計 119 個

事業 No. 171	事業名	小中学校パソコン整備事業		
学校教育課	事業概要	小学校にはタブレットパソコンを、中学校にはパソコン教室用のノートパソコン及びタブレットパソコンを「情報活用能力」の向上を目的に整備する。		
ハード事業				
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○タブレットPC等を借上げ				→
決算額	5,404 千円	決算見込額	6,453 千円	予算額 5,404 千円

事業 No. 172	事業名	校務支援システム整備事業		
学校教育課	事業概要	学校における成績管理や出欠席管理など教員が行う校務について、情報漏えい防止や負担軽減のため、校務支援システムを導入する。		
ソフト事業				
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○中学校にシステム導入				→ ○各小学校にシステム導入
決算額	798 千円	決算見込額	1,595 千円	予算額 8,560 千円

(2) 高校進学育英奨学制度の充実

①育英奨学制度の充実		計画書 P 128
<p>○町内在住で成績が優良かつ、経済的な理由で高等学校への修学が困難な生徒に対し、奨学金制度を継続して保護者の負担軽減に努めます。</p> <p>○社会情勢などを考慮しながら、制度の見直しなどを検討していきます。</p>		
【参考となる指標】湯河原町育英奨学金の認定者数		
現状の実績		2020年度の目標
平成27年度 15 名	平成28年度 14 名	15 名

事業 No. 173	事業名	湯河原町育英奨学金		
学校教育課	事業概要	町内在住の優良な生徒で、経済的理由により高等学校課程の修学が困難な者に、学資等を交付し修学を奨励する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○奨学金を給付				→
決算額	2,360 千円	決算見込額	2,380 千円	予算額 2,400 千円

4 生涯教育

(1) 生涯学習推進体制の整備

①町民大学の拡充		計画書 P 130
<p>○町民大学では、趣味や健康など、各分野の教養講座を町民に提供します。</p> <p>○平成 28 年度で 60 周年を迎えるため、記念講演などを開催し、広く町民へ参加を呼びかけます。</p> <p>○幅広い世代に受け入れられるよう魅力ある講演内容を計画し、後世に引き継いでいきます。</p> <p>【参考となる指標】 町民大学の受講生の人数</p>		
現状の実績		2020 年度の目標
平成 27 年度 195 人	平成 28 年度 235 人	212 人

事業 No. 174	事業名	町民大学運営事業		
社会教育課	事業概要	町民の教養講座として各分野の専門家を講師に招き、毎月第 3 土曜日 (年間 12 回) に講義を行う。町からの委託により町民大学運営委員会が企画・運営する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○運営費を助成				→
○開講 60 周年記念事業を実施				
決算額	4,028 千円	決算見込額	1,400 千円	予算額 1,400 千円

(2) 生涯学習内容の充実

①多様なライフスタイルに対応した学習プログラムの作成		計画書 P 130
○子どもから社会人、高齢者まで、多様化したライフスタイルそれぞれの要望に応じるような学習プログラムの作成に努めます。		

事業 No. 175	事業名	自然科学・歴史文化探訪事業		
社会教育課	事業概要	新崎川等の動植物の観察、町内各所でのツバメの観察、親子天体観測、海でのプランクトンの観察、歴史と文化の探訪町歩きを行い、郷土の自然や文化財に触れることで心を育む。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○各観察会等を実施				→
決算額	31 千円	決算見込額	586 千円	予算額 114 千円

(3) 図書館施設・運営の充実

①図書館施設整備の推進		計画書 P 131
○子ども、高齢者、障がい者など、個々の利用者に応じたサービスを提供するため、ユニバーサルデザインを取り入れ、明るく、親しみやすい施設を目指します。		

事業 No. 176	事業名	図書館施設整備事業		
図書館	事業概要	経年に伴う施設・設備の改修工事を行い、安心・安全で誰もが快適に利用できる、明るく親しみやすい施設を目指す。		
ハード事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○施設・設備の改修・修繕 ・誘導灯交換修繕 ・屋上建屋改修工事		・消防設備改修工事		→
決算見込額	874 千円	決算見込額	6,891 千円	予算額 2,000 千円

事業 No. 177	事業名	図書館空調設備事業		
図書館	事業概要	設置から 30 年以上が経過した空調設備を改修し、安全で快適に利用できる施設を目指すとともに、省エネ化を図る。		
ハード事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○空調設備改修工事				
決算額	18,360 千円	決算見込額	—	予算額 —

(3) 図書館施設・運営の充実

②図書館資料の充実	計画書 P 131
○多様化する社会の変化と町民のニーズに応えられるよう、豊富で新鮮な幅広い図書、逐次刊行物、郷土資料、視聴覚資料などの図書館資料の収集に努め、充実させていきます。	
【参考となる指標】 図書館の年間貸出点数	
現状の実績	→ 2020 年度の目標
平成 27 年度 150,334 点 平成 28 年度 141,214 点	145,000 点

事業 No. 178	事業名	図書館資料整備事業		
図書館	事業概要	文化活動の拠点として、図書館サービスの基礎となる図書館資料の充実に努め、利用者の拡大や貸出数の増加を図る。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○資料整備を実施				→
決算額	6,479 千円	決算見込額	6,612 千円	予算額 6,011 千円

(3) 図書館施設・運営の充実

④子どもたちに対するサービスの推進	計画書 P 131
○子どもたちの興味や関心をひく良質な図書を豊富に揃え、それぞれの成長にあった本選び、読書の楽しさを実感できるような支援を行います。	
○学校や保育所・幼稚園などと連携して子どもの読書活動を支援していきます。	
○子どもの身近にいる大人に向けて、子どもの読書や児童書についての講座を開催し、本と子どもを結びつけるための読書サービスに努めます。	
【参考となる指標】 図書館の子ども (15 歳以下) 向け図書の蔵書冊数	
現状の実績	→ 2020 年度の目標
平成 27 年度 29,951 冊 平成 28 年度 28,663 冊	29,000 冊

事業 No. 179	事業名	ブックスタート・セカンドブック推進事業		
図書館 ソフト事業	事業概要	4 か月児健康診査時に、絵本及びブックリスト等を提供し、読み聞かせを実演することで、乳児の言葉と心を育み、絵本で親子の絆を深める。(ブックスタート) 小学校入学時に、図書読書手帳及びうちどく(家読)ブックリスト等を提供し、学齢期の家庭での読書を支援する。(セカンドブック)		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○読書推進活動を実施				→
決算額	297 千円	決算見込額	325 千円	予算額 308 千円

5 スポーツ

(1) スポーツ施設の充実

①スポーツ施設の利用促進・運営充実		計画書 P 133							
<p>○県西地域 2 市 7 町に在住、通勤又は通学する方と熱海市に在住の方、本町と熱海市泉地区の宿泊施設に宿泊された方などが町民と同料金で利用できるようにし、施設の利用促進を図っています。</p> <p>○平成 28 年 4 月 1 日から各スポーツ施設に指定管理者制度を導入し、施設運営の充実を図るとともに、利用者の利便性の向上に努めます。</p> <p>【参考となる指標】 町民体育館の利用者数</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">現状の実績</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">➡</td> <td style="text-align: center;">2020 年度の目標</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年度 30,645 人</td> <td>平成 28 年度 29,209 人</td> <td style="text-align: center;">25,000 人</td> </tr> </table>			現状の実績		➡	2020 年度の目標	平成 27 年度 30,645 人	平成 28 年度 29,209 人	25,000 人
現状の実績		➡	2020 年度の目標						
平成 27 年度 30,645 人	平成 28 年度 29,209 人		25,000 人						

事業 No. 180	事業名	ヘルシープラザ運営事業		
社会教育課 ソフト事業	事業概要	管理・運営に指定管理者制度を導入することにより、経費の削減を図るとともに、民間事業者の持つノウハウを活かした効果的かつ効率的な運営を行う。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○指定管理者による管理・運営 ○出入口シャッター改修工事				→
決算額	22,211 千円	決算見込額	21,368 千円	予算額 20,014 千円

事業 No. 181	事業名	湯河原町民体育館運営経費		
社会教育課 ソフト事業	事業概要	管理・運営に指定管理者制度を導入することにより、経費の削減を図るとともに、民間事業者の持つノウハウを活かした効果的かつ効率的な運営を行う。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○指定管理者による管理・運営 ○施設の老朽化に伴う改修工事				→ ・施設改修 (空調設備整備)
決算額	7,888 千円	決算見込額	8,264 千円	予算額 8,764 千円

(2) スポーツ活動の支援

①スポーツ活動の支援		計画書 P 133
<p>○スポーツ団体への支援を行い、各団体協力のもと、各種大会やスポーツ教室・イベントなどの開催を通じて町民の体力増進、健康の維持などを図ります。</p>		

-基本目標4- ゆがわら 2011 プラン (湯河原町新総合計画) 実施計画

事業 No. 182	事業名	保健体育総務事務経費 (スポーツ少年団助成金)		
社会教育課 ソフト事業	事業概要	湯河原町スポーツ少年団の各団は、それぞれの活発な活動を通じて青少年のスポーツ振興、健全育成に寄与するとともに、町の行事に協力いただいているため、その活動費の一部を助成する。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○活動費を助成				→
決算額	120 千円	決算見込額	120 千円	予算額 120 千円

事業 No. 183	事業名	湯河原町体育協会補助金		
社会教育課 ソフト事業	事業概要	湯河原町体育協会を構成する各部は、それぞれ活発な活動を行うとともに、スポーツ少年団の育成に取り組むなど、スポーツの振興を図っている。また、町内外の各種大会に参加・協力し、スポーツ行事の企画・立案・運営等において中心的な役割を担っているため、この活動に対し補助金を交付する。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○活動費を助成				→
決算額	2,000 千円	決算見込額	2,000 千円	予算額 2,000 千円

事業 No. 184	事業名	スポーツ振興助成事業		
社会教育課 ソフト事業	事業概要	ブロック別 (関東大会等)、全国大会やそれに準ずる大会に参加する選手、あるいは団体に対し、湯河原町スポーツ振興助成金交付基準に基づき、その参加にかかる経費の一部を助成する。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○参加経費を助成				→
決算額	120 千円	決算見込額	120 千円	予算額 120 千円

(2) スポーツ活動の支援

②スポーツ・レクリエーションの場づくり		計画書 P133
○町民体育館、ヘルシープラザ、小学校のグラウンド・体育館などを、スポーツ・レクリエーションの場として活用します。		

事業 No. 185	事業名	町民レクリエーションの集い開催事業		
社会教育課 ソフト事業	事業概要	誰もが参加できるスポーツの行事として、町民相互の親睦、異世代間の交流及び健康・体力の増進を図る。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
		○町民レクリエーションを開催		→
決算額	1,150 千円	決算見込額	899 千円	予算額 1,607 千円

事業 No. 186	事業名	各種大会開催事業		
社会教育課 ソフト事業	事業概要	各種団体にスポーツ大会の開催を委託し、町民相互の親睦、異世代間の交流及び健康・体力の増進を図る。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○各種大会を開催				→
決算額	365 千円	決算見込額	356 千円	予算額 351 千円

(2) スポーツ活動の支援

③スポーツ教室、イベントの開催	計画書 P 133								
<p>○オレンジマラソンの内容を更に充実させ、スポーツと観光の振興を図ります。 ○グラウンドゴルフ大会やファミリーバドミントン教室、スポーツ・レクリエーションフェスティバルなど、誰もが楽しめるイベントを開催し、「未病」を治すことや、世代間交流の推進を図ります。</p> <p>【参考となる指標】湯河原温泉オレンジマラソン大会の参加申込数</p>									
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2" style="background-color: #cccccc;">現状の実績</th> <th style="width: 20px; text-align: center;">➡</th> <th style="background-color: #cccccc;">2020 年度の目標</th> </tr> <tr> <td style="width: 30%;">平成 27 年度 3,174 人・組</td> <td style="width: 30%;">平成 28 年度 3,120 人・組</td> <td></td> <td style="width: 20%;">3,000 人・組</td> </tr> </table>		現状の実績		➡	2020 年度の目標	平成 27 年度 3,174 人・組	平成 28 年度 3,120 人・組		3,000 人・組
現状の実績		➡	2020 年度の目標						
平成 27 年度 3,174 人・組	平成 28 年度 3,120 人・組		3,000 人・組						

事業 No. 187	事業名	湯河原温泉オレンジマラソン開催事業			
社会教育課	事業概要	本町の「空・花・湯」を満喫し仲間達との再会とふれあいを深めてもらうとともに、町のスポーツ振興と観光に寄与することを目的に、本町最大のスポーツイベントとしてマラソン大会を開催する。			
ソフト事業					
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度	
○マラソン大会を開催		➡			
決算額	10,827 千円	決算見込額	11,059 千円	予算額	11,130 千円

6 青少年健全育成

(1) 家庭・地域・学校の連携

①青少年健全育成関係団体の支援	計画書 P 135
<p>○子ども会、青少年指導員会及び明るい青少年を育てる会などの関係団体の活動を支援します。 ○関係団体と協力して、地域全体で子どもたちを支え育てていく地域づくりに取り組みます。</p>	

事業 No. 188	事業名	青少年育成事務経費 (町青少年指導員会助成金)			
社会教育課	事業概要	湯河原町青少年指導員会の活動に対し助成を行うことで、青少年の自発的活動とその育成活動を推進し、青少年の健全な育成を図る。			
ソフト事業					
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度	
○活動費を助成		➡			
決算額	150 千円	決算見込額	150 千円	予算額	150 千円

事業 No. 189	事業名	青少年育成事務経費 (町子ども会育成団体連絡協議会助成金)			
社会教育課	事業概要	湯河原町子ども会育成団体連絡協議会の活動に対し助成を行うことで、地域における青少年の見守り体制の強化を図る。			
ソフト事業					
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度	
○活動費を助成		➡			
決算額	210 千円	決算見込額	210 千円	予算額	210 千円

事業 No. 190	事業名	青少年健全育成地域活動推進事業			
社会教育課	事業概要	町内 5 地区の明るい青少年を育てる会及び 2 地区の母親クラブに対し助成を行い、青少年の健全育成を目的として実施する様々な事業により、異世代の交流や地域との親睦及び連携を図る。			
ソフト事業					
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度	
○活動費を助成		➡			
決算額	240 千円	決算見込額	240 千円	予算額	240 千円

(1) 家庭・地域・学校の連携

②青少年育成体験活動の推進	計画書 P 135
<p>○子ども会、各地区明るい青少年を育てる会などの地域青少年団体や青少年指導員会などが実施している事業について、各種団体との連携により、内容などを工夫・改善しながら実施します。</p> <p>○青少年が中心になった活動ができるよう支援します。</p>	

事業 No. 191	事業名	青少年地域体験活動支援事業		
社会教育課	事業概要	砂の芸術大会、球技大会、親子ます釣り大会及び親子ふれあい海のつどいといった体験活動の中で、自然にふれあいながら地域との親睦や家族とのコミュニケーションを育む。親子ます釣り大会及び親子ふれあい海のつどいは隔年で実施。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○各種大会を実施				➔
○インリーダー宿泊研修				➔
○親子ます釣り大会を実施		○親子ふれあい海のつどいを実施		○親子ます釣り大会を実施
決算額	483 千円	決算見込額	420 千円	予算額 515 千円

(1) 家庭・地域・学校の連携

③青少年相談の充実	計画書 P 135						
<p>○専門相談員を継続して設置し、青少年相談の充実と青少年の非行に対し適正な措置を講じます。</p> <p>○補導・巡視パトロールを実施します。</p> <p>○家庭・学校・地域社会や青少年関係団体、児童相談所や警察などの専門機関との連携を強化し、町ぐるみでの活動を推進していきます。</p>							
【参考となる指標】 町内巡回パトロールの実施回数							
<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <th colspan="2">現状の実績</th> </tr> <tr> <td>平成 27 年度 711 回</td> <td>平成 28 年度 617 回</td> </tr> </table> ➔ <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <th>2020 年度の目標</th> </tr> <tr> <td>800 回</td> </tr> </table>		現状の実績		平成 27 年度 711 回	平成 28 年度 617 回	2020 年度の目標	800 回
現状の実績							
平成 27 年度 711 回	平成 28 年度 617 回						
2020 年度の目標							
800 回							

事業 No. 192	事業名	青少年相談員設置事業		
社会教育課	事業概要	青少年の非行防止と非行少年への適正な処置、不登校児童及び生徒への対応、就学及び就業相談のほか、環境健全化活動として、補導及び巡視パトロールの実施、有害図書に対する店舗等への指導助言等を行う。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○青少年相談員を配置				➔
決算額	4,932 千円	決算見込額	4,587 千円	予算額 4,839 千円

(1) 家庭・地域・学校の連携

④学童保育・放課後子ども教室の充実	計画書 P 135						
<p>○学童保育の施設と事業内容の充実、放課後児童支援員の確保及び専門的な知識習得のための研修の受講など、学童保育を質・量ともに高めるよう努めます。</p> <p>○放課後子ども教室の取組の充実を図るとともに、学童保育と放課後子ども教室が、一緒に学習や体験活動を行うことができるよう取組を推進し、共通のプログラムの充実を図ります。</p>							
【参考となる指標】 学童保育の参加児童延べ人数							
<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <th colspan="2">現状の実績</th> </tr> <tr> <td>平成 27 年度 28,538 人</td> <td>平成 28 年度 33,179 人</td> </tr> </table> ➔ <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <th>2020 年度の目標</th> </tr> <tr> <td>31,455 人</td> </tr> </table>		現状の実績		平成 27 年度 28,538 人	平成 28 年度 33,179 人	2020 年度の目標	31,455 人
現状の実績							
平成 27 年度 28,538 人	平成 28 年度 33,179 人						
2020 年度の目標							
31,455 人							

事業 No. 193	事業名	放課後児童健全育成事業		
社会教育課	事業概要	放課後、保護者の適切な保護を受けることができない小学校児童の健全な育成を図るため、余裕教室を活用した学童保育所を3小学校で開設する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○3小学校で学童保育を実施				→
決算額	33,147 千円	決算見込額	40,365 千円	予算額 52,690 千円

事業 No. 194	事業名	放課後子ども教室推進事業		
社会教育課	事業概要	放課後に小学校の余裕教室を活用して、地域住民の協力を得て、子どもたちの活動拠点(居場所)を確保し、放課後や週末等における様々な体験活動や地域住民との交流活動等を実施する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○東台福浦小学校及び湯河原小学校で放課後子ども教室を実施		→		○東台福浦小、湯河原小及び吉浜小で放課後子ども教室を実施
決算額	2,652 千円	決算見込額	3,147 千円	予算額 5,310 千円

(2) 地域指導者の育成・支援

②次世代地域指導者の育成		計画書 P 135
○地域の活動やボランティア活動を行い、将来に渡り活躍する地域の指導者を育成するため、中学生及び高校生などをジュニアリーダー、シニアリーダーとして積極的に養成・支援します。		

事業 No. 195	事業名	青少年リーダー養成事業		
社会教育課	事業概要	湯河原町ジュニア・リーダーズ・クラブが自らのリーダーとしての自覚や資質の向上を図るとともに小学5・6年生へゲームの指導を通じ、集団の中においてリーダーとして必要な資質を養う研修を行う。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○養成事業を委託				→
決算額	50 千円	決算見込額	80 千円	予算額 80 千円

-- II 文化芸術の振興 --

1 文化芸術

(2) 町民文化芸術活動の支援

①教養文化の土壌醸成		計画書 P 137
○文化団体活動への支援、音楽会・文化祭の開催などの活動を通じ、豊かで潤いのある地域づくりをめざします。		

事業 No. 196	事業名	音楽会開催事業		
社会教育課	事業概要	町民の音楽に対する意識の高揚と交流を図るため、町内の音楽グループの発表会として、また、プロの音楽家の歌唱や演奏を直接鑑賞する音楽会として2日間にわたり実施する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○音楽会を開催				→
決算額	330 千円	決算見込額	366 千円	予算額 361 千円

事業 No. 197	事業名	文化祭開催事業		
社会教育課 ソフト事業	事業概要	町内の美術、華道、書道などの文化団体、サークルなどの発表の場として、観光会館等の会場を使用し、10月～11月の約2か月間にわたり開催する。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○文化祭を開催				→
決算額	434 千円	決算見込額	373 千円	予算額 389 千円

(2) 町民文化芸術活動の支援

②美術館の充実・活用		計画書 P 137						
<p>○湯河原に残された文化遺産を後世に伝える役割を担いながら、観光客や町民が湯河原の魅力を感じられるよう、美術資料を活用した展覧会を企画します。</p> <p>○生涯学習施設として作家展や講座などの充実に努めるとともに、学校と連携して児童生徒の教育支援を行います。</p> <p>【参考となる指標】美術館の利用者数</p>								
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">現状の実績</th> </tr> <tr> <td>平成 27 年度 15,504 人</td> <td>平成 28 年度 15,286 人</td> </tr> </table>		現状の実績		平成 27 年度 15,504 人	平成 28 年度 15,286 人	<table border="1"> <tr> <th>2020 年度の目標</th> </tr> <tr> <td>16,000 人</td> </tr> </table>	2020 年度の目標	16,000 人
現状の実績								
平成 27 年度 15,504 人	平成 28 年度 15,286 人							
2020 年度の目標								
16,000 人								

事業 No. 198	事業名	展覧会開催事業		
美術館 ソフト事業	事業概要	常設館及び平松礼二館では、年4回の展示替えや企画展を開催し、作品を後世に伝えるとともに「文化の薫る町・ゆがわら」の魅力を発信する役割を担っている。また、他館からの借用による特別展や現代作家展等の展覧会を開催している。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○常設展・企画展・現代作家展を開催				→
○展示コーナーで文化団体の作品展を開催				→
○特別展の開催を検討・実施				→
決算額	5,350 千円	決算見込額	3,559 千円	予算額 8,036 千円

事業 No. 199	事業名	美術館庭園整備事業		
美術館 ハード事業	事業概要	「四季彩のまち」にふさわしい景観をつくり、町民や観光客などに憩いの場を提供すると同時に、町民の文化・芸術活動の支援拠点として形成する。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○庭園付帯設備を検討		○オープンテラス整備 ○足湯のあるカフェ整備		○修景整備
決算額	—	決算見込額	70,938 千円	予算額 1,923 千円

事業 No. 200	事業名	アトリエ公開事業		
美術館 ハード事業	事業概要	平松礼二画伯の(仮称)「湯河原十景」の作品制作のため、美術館を改修して、アトリエを設け、制作過程を一般公開する。また、アトリエ内で平松画伯による講座やワークショップを開催する。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○事業検討		○アトリエ公開事業実施		→
決算額	8,805 千円	決算見込額	2,264 千円	予算額 2,067 千円

2 文化財・史料

(1) 文化財・史料の保護と活用

④町史の編さん	計画書 P 138
○本町の歴史と人々のくらしを将来へ伝えるため、町村合併から現在までの町史の編さんを行います。	

事業 No. 201	事業名	町史編さん事業		
地域政策課	事業概要	昭和 30 年の町村合併から現在までの町の歩みを振り返り、町の将来像を考察するための基礎資料として「新」湯河原町史を編さんする。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○町史を編さん ・資料調査		→ ・資料編執筆		→ ・資料編執筆・印刷 ・通史編執筆
決算額	3,583 千円	決算見込額	4,720 千円	予算額 14,687 千円

--- III 多文化共生社会の実現 ---

1 国際理解

(1) 国際理解の推進

②国際理解講座の開催	計画書 P 140
○国際化推進のための講演会等のほか、関係団体の協力により語学など各種講座を開催します。	

事業 No. 202	事業名	国際理解講座開催事業 (平成 29 年度より国内外親善交流推進事業と統合)		
社会教育課	事業概要	国際化時代を迎えている昨今、真の国際人としての見識を広め、国際理解を図ることを目的に語学、特に親善都市の母国語である英語・韓国語を中心にゆがわら国際交流協会に委託し、講座を開催する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○講座を開催		○地域政策課事業へ統合		
決算額	120 千円	決算見込額	— 千円	予算額 — 千円

事業 No. 33	事業名	グローバル人材育成事業
-----------	-----	-------------

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(6)- ③国際観光地に向けた外国人観光客誘客活動】

(1) 国際交流活動の展開

①姉妹都市などとの交流拡大	計画書 P 141
○姉妹都市との交流について、ホームステイによる青少年や住民の相互訪問などの事業を推進するほか、民間による交流を支援します。また、職員人事交流などの事業を検討します。	
【参考となる指標】 姉妹都市と交流した人数	
現状の実績	2020 年度の目標
平成 28 年度 ポートスティーブンス市 派遣生徒 6 名 忠州市 派遣町民 6 名、来訪市民 7 名	→ 同等の交流派遣

事業 No. 203	事業名	国内外親善交流推進事業		
地域政策課 ソフト事業	事業概要	本町と親善都市提携、姉妹都市提携などを結んでいる国内外の都市（広島県三原市・富山県立山町・東京都豊島区・オーストラリアポートステイブンス市・大韓民国忠州市・イタリアティヴォリ市）と幅広い交流を推進する。また、インバウンド促進に向けた海外のPR拠点づくりとして、新たな交流・拡大を検討する。		
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○国内外都市との交流 ・忠州市とのスポーツ相互交流 ・ティヴォリ市と友好親善都市締結 ○親善交流フェアを実施		・ティヴォリ市と交流		○親善交流フェアを実施 ○海外駐在員制度の施行・実施
決算額	4,689 千円	決算見込額	6,734 千円	予算額 7,209 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標4-III-2-(1)-②国際文化交流の推進】

事業 No. 204	事業名	親善都市子ども交流推進事業		
社会教育課 ソフト事業	事業概要	町内在住の中学2年生を対象に、姉妹都市提携を結んでいるオーストラリアポートステイブンス市を訪問（ホームステイ）し、グローバルな視野や考え方の醸成を図る。また、町内在住の小学5年生及び6年生を対象に、本町と親善都市提携を結んでいる広島県三原市と本町とを隔年で相互訪問し、交歓会や交流会などを通じて互いの交流と親交を深める。		
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○中学生派遣事業を実施（ポートステイブンス市）（生徒6名） ○三原市児童が本町を訪問		○本町児童が三原市を訪問		○三原市児童が本町を訪問
決算額	2,401 千円	決算見込額	2,979 千円	予算額 3,399 千円

(1) 国際交流活動の展開

②国際文化交流の推進	計画書 P141
○国際交流事業や国際理解事業を推進します。 ○イベントを通して、町民と外国籍住民との交流を図るとともに異文化の理解を深めます。	

事業 No. 203	事業名	国内外親善交流推進事業		
------------	-----	-------------	--	--

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標4-III-2-(1)-①姉妹都市などとの交流拡大】

3 地域間交流

(1) 地域間交流の推進

①地域間での交流の拡大	計画書 P142
○「梅サミット」などの加入自治体や「西さがみ観光協議会」など各地域間との交流・連携を深めます。	

事業 No. 205	事業名	全国梅サミット開催事業		
観光課 ソフト事業	事業概要	全国13の加盟自治体市町が、梅を活かした観光・産業振興及び地域文化の向上等について意見・情報交換を行う「全国梅サミット」を開催するもの。加盟自治体が持ち回りでサミットを開催し、平成28年度は湯河原町が湯河原梅林を主会場に実施。		
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○全国梅サミットを開催				
決算額	2,973 千円	決算見込額	— 千円	予算額 — 千円

(1) 地域間交流の推進

②親善都市及び姉妹都市との交流の推進	計画書 P142				
<p>○広島県三原市とやっさ踊りを通した「三原市親善都市子ども交流」事業を今後も推進します。</p> <p>○富山県立山町及び東京都豊島区との交流を推進します。</p> <p>【参考となる指標】三原市との交流に参加した湯河原町の児童人数</p>					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th colspan="2">現状の実績</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成 27 年度 41 人 (三原市児童を受け入れ)</td> <td style="text-align: center;">平成 28 年度 40 人 (三原市児童を迎え入れ)</td> </tr> </table>	現状の実績		平成 27 年度 41 人 (三原市児童を受け入れ)	平成 28 年度 40 人 (三原市児童を迎え入れ)	
現状の実績					
平成 27 年度 41 人 (三原市児童を受け入れ)	平成 28 年度 40 人 (三原市児童を迎え入れ)				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th>2020 年度の目標</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">40 人</td> </tr> </table>		2020 年度の目標	40 人		
2020 年度の目標					
40 人					

事業 No. 206	事業名	観光親善交流事業		
観光課	事業概要	「文化交流都市」協定を締結した東京都豊島区、全国梅サミットで交流がある東京都青梅市、越生市及び圏央道沿線に位置するあきる野市と物産展への出品やイベントでのパンフレット配布などにより親善交流を推進する。(豊島区民、青梅市民への宿泊助成事業を本事業に統一)		
ソフト事業				
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度
		<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> ○宿泊助成を実施 → </div>		
		・豊島区民、青梅市民	・あきる野市民、越生町民を追加	
		決算額 373 千円	決算見込額 1,150 千円	予算額 850 千円